

現ロボスクエアにおいて実施しているロボット関連イベント・大会または工作教室・講座のうち、以下に示す事業について引継ぐこと。

また、平成26年度の実績を参考情報として示しているが、構成等のリニューアルを検討する場合は、必要に応じて関係団体と調整を図ること。ただし、関係団体との調整は要求水準書で指示する引継期間に行うこと。

移管事業一覧	
1	YOKAロボまつり 二足歩行ロボットバトル大会, サッカー大会
2	ヒューマノイドカップロボットバトル大会
3	ロボカップジュニア関連大会
4	国際宇宙ロボット火星ローバーコンテスト
5	スカベンジャーロボ競技大会
6	ロボメカデザインコンペ

【参考】 事業概要(平成26年度実績)

1

(1) 事業名：『YOKAロボまつり 二足歩行ロボットバトル大会』
『YOKAロボまつり 二足歩行ロボットサッカー大会』

(2) 実施日時： バトル大会
①35回大会 平成26年 5月11日(日)
②37回大会 平成26年 8月24日(日)
③38回大会 平成26年12月23日(火)
サッカー大会
④36回大会 平成26年7月21日(月)
⑤39回大会 平成27年1月11日(日)

(3) 実施場所： ロボスクエア中央フロア

(4) 主催：九州ロボット練習会
協力：ロボスクエア

(5) 期間動員数(来館者数)： ①1,005人 ②1,111人 ③1,144人
④1,120人 ⑤719人

(6) 実施概要：

九州の二足歩行ロボット所有者を中心としたロボットコミュニティ型イベント。ロボットの大きさで3階級に分かれ、1対1バトル大会を開催。福岡県内はもとより、関東・関西地区からも参戦。38回大会では二足歩行ロボットの国内大会ROBO-ONE で3度の優勝に輝いたロボットも出場。

九州ロボット練習会(ロボット愛好家の団体)による運営。ロボスクエアにある備品を貸し出ししている。



2

- (1) 事業名：『第34回ヒューマノイドカップロボットバトル大会』
- (2) 実施日時：平成26年3月1日(土)
- (3) 実施場所：ロボスクエア中央フロア
- (4) 主催：九州ロボット練習会
協力：ロボスクエア
- (5) 期間動員数(来館者数)：1,224人
- (6) 実施概要：

毎回大人気のヒューマノイドカップ。二足歩行ロボットによる1対1の決勝バトル大会。今回実施の大会は、東京で行われる第26回ROBO-ONE決勝出場権(全国)認定大会を兼ねたもの。
業務委託による運営。



3

- (1) 事業名：①『第21回ロボスクエアロボチャレンジ大会』
②『ロボカップジュニア2015福岡ノード大会』
③『ロボカップジュニア2015九州ブロック大会』
- (2) 実施日時：①平成26年11月30日(日) ※13チーム参
②平成26年12月14日(日) ※12チーム参
③平成27年 1月18日(日)
- (3) 実施場所：ロボスクエア中央フロア
- (4) 主催：ロボスクエア
- (5) 期間動員数(来館者数)：①790人 ②985人 ③1,995人

- (6) 実施概要：

市内小中学校技術家庭課教師の協力のもとロボスクエアによる運営。運営に際し謝金等発生。九州地区からジャパンオープン大会へ出場したチームが、世界大会へも出場。成績上位者には、ロボスクエアから副賞を進呈。

①『ロボチャレンジ大会』

ロボット塾卒業生や、福岡ノード大会への出場予定者の練習会。

②『福岡ノード大会』

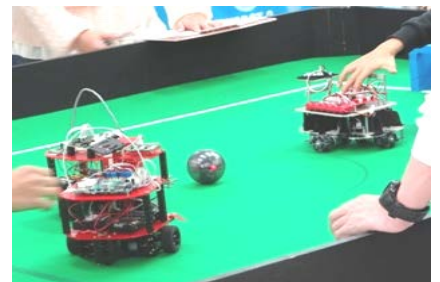
子どもたちが制作し、動きをパソコンでプログラミングした自律型ロボットを使って行う競技会。上位の成績を収めたチームは、九州ブロック大会への出場権を得ることができる。サッカー競技。

③『九州ブロック大会』

福岡ノード大会で勝ち進んだチームや、他地域のノードを勝ち抜いたチームとの対戦(サッカー競技)を開催。

九州ブロック大会からは、ダンス競技、レスキュー競技も加わり実施。

上位の成績を収めたチームは3月に埼玉県で行われるジャパンオープン大会への出場権を得ることができる。



4

- (1) 事業名：『第15回国際宇宙ロボット火星ローバーコンテスト』
- (2) 実施日時：①平成26年8月31日(日) ※45チーム参加
- (3) 実施場所：ロボスクエア中央フロア
- (4) 主催：ロボスクエア
共催：JAXA
- (5) 期間動員数(来館者数)：1,099人



- (6) 実施概要：
平成17年10月「第56回国際宇宙会議福岡大会」で行われた「第1回国際宇宙ロボット(火星ローバー)コンテスト」から始まったもので、競技内容は、火星に見立てたフィールドを自作のロボットで進み、障害物をクリアしながら目的地到着までの時間を競うもの。
JAXA及び県内小中学校技術家庭課教師の協力のもとロボスクエアが主催。かなり大がかりなセットを組んでやっている。
運営に際し謝金等発生。過去には、各地でローバーコンテストをやっていたが、現在は福岡のみでの開催となっている。

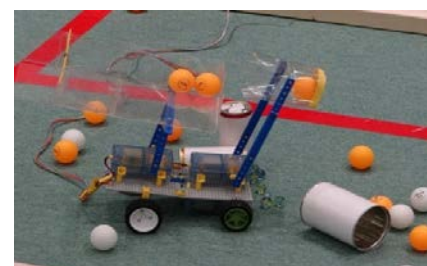


5

- (1) 事業名：『スカベンジャーロボ競技大会(九州大会)』
- (2) 実施日時：平成27年1月24日(土)
- (3) 実施場所：TNC放送会館1階多目的フロア
- (4) 主催：(社)日本機械学会
協力：ロボスクエア
- (5) 期間動員数(来館者数)：353人



- (6) 実施概要：
自作のロボットで床に転がったピンポン球(ゴミ)を集めて、ゴール(ゴミ集積場)まで運ぶ、スカベンジャー(お掃除ロボット)競技。
この大会の上位成績者は、3月に東京で行われる全国大会に招待。九州大学倉爪研究室による運営。
運営に際し謝金等発生。



6

- (1) 事業名：『ロボメカデザインコンペ2014』(二次選考会・表彰式)
- (2) 実施日時：平成26年12月13日(土)
- (3) 実施場所：ロボスクエア中央フロア
- (4) 主催：社団法人 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス
協力：ロボスクエア
- (5) 期間動員数(来館者数)：70人



- (6) 実施概要：
工学系学生とデザイン系学生とのコラボレーションによる新しいロボット・メカトロデザインを募集・審査する競技会。
日本機械学会が主催し、実際の運営は九州産業大学の教授が担当。
審査委員に福岡市経済観光文化局新産業振興課長
本コンテストでは機構・機能・動作・システムなどの工学的な観点と、利活用の仕方・外観・インターフェースなどのデザイン的な観点とを総合的に審査する。指定管理者より副賞を進呈。

